



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第12回 前立腺癌（ぜんりつせんがん）について

泌尿器科 松井 健一郎 先生

海神にお住まいのみなさま、こんにちは。今回は前立腺癌に関するお話をさせていただきます。前立腺は男性だけが持っている臓器なので、男性のみのお話ですね。

医学の進歩により今や癌は治せる病気となっています。しかし死因の順位を見てみると、癌は昭和56年以降常に第1位となっており、医学が癌を凌駕したとは言えないのが現状です。その中で男性の癌罹患率は、第1位前立腺癌、第2位胃癌、第3位大腸癌と聞き馴染みのある臓器を押さえ前立腺がトップとなっています。一方、男性の癌死亡率の上位は、第1位肺癌、第2位胃癌 第3位大腸癌であり、前立腺癌は第6位です。なぜこんなにも差異が生まれてくるのでしょうか？前立腺癌の特性もありますが、前立腺癌にはPSAというとても優秀なマーカーが存在するのも大きな要因です。ひとつの腫瘍マーカーから数種類の原因が示唆されるものが多い中、PSAは前立腺にのみ発現するマーカーであり、前立腺癌の早期発見に大きな貢献をしています。現在、船橋市の検診では5年ごとに測定しています。しかし、医療の世界ではPSA 1.0以下であれば3年ごと、PSA 1.0を超える場合は1年ごとの測定が推奨されています。癌は早期発見、早期治療が基本です。まずは一度、ご自分のPSAを測定してみたいかがでしょうか。